

新倉ふれあいの森 カンアオイ発見

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 代表理事 高橋絹世（8月24日作成）

カンアオイを発見した日 2008年8月23日（土）笹狩りの活動中に

タマノカンアオイ（花期5月）かカントウカンアオイ（花期12～2月）かは、はっきりはしませんが、今後花の時期を観察し同定したいと思います。

ササが生長してきた幼樹保護区内の笹狩りをしているときに、ササの下に生育しているカンアオイを発見しました。早速、板橋区でカンアオイの調査やニリンソウ保護を行なっている栄志代さん（区の花ニリンソウを保存する会）にお出で戴き、視察を行ないました。

朝霞の根岸台の斜面にあるタマノカンアオイは、私有地内から公有地内に移植し、5月には花が咲き、丁度その時に観察をする機械を得て、確認することが出来ました。

今回のカンアオイがどちらの種類かはまだ特定は出来ませんが、画像で比較してみました。



5月21日朝霞市タマノカンアオイ保存区域（花）



8月23日ふれあいの森のカンアオイ発見



朝霞市の全景・柵で土留めし移植し保護



笹狩り中にササの下から発見された（ふれあいの森）



8月24日、区の花ニリンソウを保存する会の栄さん。新倉のカンアオイを視察している所。ニリンソウを保存する会の方々。新倉ふれあいの森での視察の様子。